3.3 一般検査

3.3.1 項目一覧表

検査項目	必要量 (mL)	検査 材料	採取容器	検査方法	生物学的 基準範囲	単位	所要時間	備考
色調	12.0	尿	尿コップ WC	分光吸収測定法 目視法(小型機)			30 分	※1
混濁				分光吸収測定法 目視法（小型機）				※1
比重				屈折率測定法 陽イオンによるメタクロマジー法(小型機)	1.005~ 1.030			※1
pH				試験紙法 (分光反射測光法)	4.5~8.0			※1
蛋白				試験紙法 (分光反射測光法)	(－)			※1
ブドウ糖				試験紙法 (分光反射測光法)	(－)			※1
KET				試験紙法 (分光反射測光法)	(－)			※1
URO				試験紙法 (分光反射測光法)	(±)			※1
BIL				試験紙法 (分光反射測光法)	(－)			※1
潜血				試験紙法 (分光反射測光法)	(－)			※1
亜硝酸塩				試験紙法 (分光反射測光法)	(－)			※1
白血球				試験紙法 (分光反射測光法)	(－)			※1
尿沈渣				機械)フローサイトメトリー法	赤血球 ≦4 白血球 ≦4	/HPF	30 分	時間外不可 ※1 ※2
				目視)鏡検法	赤血球 ≦4 白血球 ≦4	/HPF	1 時間半	時間外不可 ※1
HCG 定性	1.0	尿	尿コップ WC	イムノクロマト法	(－)		30 分	~~25~~ 20mIU/mL 以上で（+）

※1 尿検査はできるだけ早く提出する。遅くとも採取後 4 時間以内に提出する。

※2 必ず鏡検法での依頼は「尿沈渣目視」の依頼コメントを入力する。

該当なしは

検査項目	必要量	検査材料	採取容器	検査方法	生物学的基準範囲	単位	所要時間	備考
尿中薬物スクリーニング	10	尿	尿コップ WC	イムノクロマト法	(－)		1 時間	※3
便潜血免疫法	1.0g	便	採便セット W2	イムノクロマト法	ヘモグロビン:(－) トランスフェリン:(－)		40 分	時間外不可 ※4
虫卵(直接法)	1.0g	便	W1	直接法	(－)		半日	時間外不可
蟯虫卵セロテープ法			蟯虫セロファン W3	鏡検法	(－)		1 時間	早朝排便前に採取。 時間外不可
脂肪染色	1.0g	便	W1	ズダンⅢ染色	(－)		1 時間	時間外不可
好酸球	1.0g	便	W1	鏡検法	認めず		半日	時間外不可
髄液一般検査	3mL	髄液	U1	鏡検法	細胞数≦5	/μL	1 時間	すみやかに提出。
蛋白定量				ﾋﾟﾛｶﾞﾛｰﾙﾚｯﾄﾞ法	10～35	mg/dL		
糖定量				ﾍｷｿｷﾅｰｾﾞ法	50～80	mg/dL		
塗抹細胞分類			U1	鏡検法			半日	すみやかに提出。 時間外不可 ※5

※3　保険収載項目ではありません。

尿中薬物スクリーニング項目一覧。

AMP (ｱﾝﾌｪﾀﾐﾝ類)	COC (ｺｶｲﾝ系麻薬)	THC (大麻)	BZO (ﾍﾞﾝｿﾞｼﾞｱｾﾞﾋﾟﾝ類)	TCA (三環系抗うつ剤)	BAR (ﾊﾞﾙﾋﾞﾂｰﾙ酸類)
MDMA (ﾒﾁﾚﾝｼﾞｵｷｼﾒﾀﾝﾌｪﾀﾐﾝ)	OPI (ﾓﾙﾋﾈ系麻薬)	RCP (ﾌｪﾝｼｸﾘｼﾞﾝ)	OXY (ｵｷｼｺﾄﾞﾝ類)	PPX (ﾌﾟﾛﾎﾟｷｼﾌｪﾝ類)	

※4　できるだけ早く提出する。外来の場合は冷暗所保存で 3 日以内に提出する。

※5　細胞数 100/μL 以上で実施する。

該当なしは

検査項目	必要量	検査材料	採取容器	検査方法	生物学的基準範囲	単位	所要時間	備考
胸水検査	10mL	胸水	U1	鏡検法			半日	すみやかに提出。時間外不可
腹水検査	10mL	腹水	U1	鏡検法			半日	すみやかに提出。時間外不可
心嚢液検査	10mL	心嚢液	U1	鏡検法			半日	すみやかに提出。時間外不可
洗浄液検査	50mL	洗浄液	Z1	鏡検法			半日	すみやかに提出。時間外不可
関節液検査	10mL	関節液	U1	鏡検法			1 時間	すみやかに提出。時間外不可
精液一般検査	全量	精液	滅菌コップ	鏡検法	精液量≧2.0 精子数≧20 精子運動率≧50 正常形態率≧15	mL ×10^6/mL % %	1 時間	要予約 時間外不可 ※6
鼻汁好酸球	適量	鼻汁	スライドガラス	鏡検法	(－)		1 時間	時間外不可 ※7

※6　室温から 37℃で保存し 1 時間以内に提出する。

該当なしは

※7　患者氏名を記入したスライドガラスを標本ケースに入れて提出する。

★採取容器については採血管・採取容器一覧（文書番号：LI-COL-0001）を参照のこと。